

市報 やまぐち

昭和58年

1月15日

No. 852

交通事故状況

種別	区分	累計		
		12月	57年	56年
発生件数		57	595	601
死亡者		5	12	8
重傷者		2	59	47
軽傷者		55	658	657

発行 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 森重印刷所



御来光を仰ぎ 新年への願い 涼山登山に80人

新年の初日の出を、ふるさとの山頂で迎えようと、宮野公民館では、「新春涼山登山」を行いました。
涼山は、標高四九六メートルで、山頂には、秋葉様が祀っており、地元では電波反射板のある山として親しまれています。
この新春登山には、四歳の幼稚園児から七十七歳のお年寄りまで約八十人が参加しました。

午前五時三十分公民館前を出発した一行は、今年の干支・亥（い）のように猪突猛進、予定より早く山頂に着きました。
七時二十三分ごろ、東方の空の雲の切れ間からチョッピリ初日が顔を出すと、山頂の市民の間から歓声が上がりました。
そして、全員が新しい年への願いを込めて、輝かしい御来光を仰ぎました。

水田転作 る 集団転作を 9ヘクタール

昭和五十八年度の水田転作目標が、県から市に示されました。これによると、市の転作目標面積は、昨年度に比べ六・七%余り軽減されました。

58年度の目標面積

米の三年連続不作と在庫量が少なくなったことにより、昭和五十八年度の水田転作目標面積が軽減されました。

これを山口市の数値で見ますと、五十六年度、五十七年度の目標面積が千六十・九ヘクタールであったものが、五十八年度は九百八十九・一ヘクタールとなり、七十一・八ヘクタール減となりました。

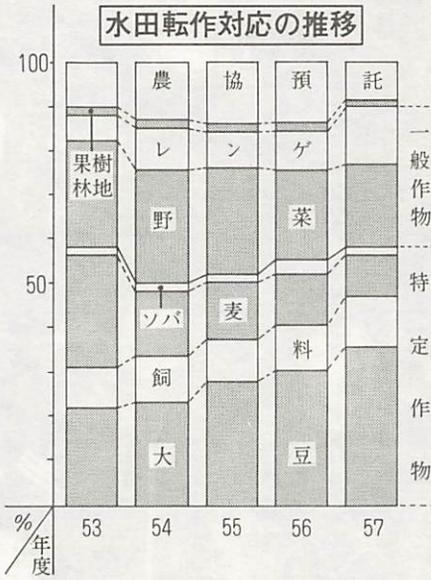
57年度の現状は

五十七年度の転作は、目標面積より六十六ヘクタール多い、千二百二十八ヘクタールの実施をみており、最終の達成率は一〇六%と予想されています。

このなかで、話し合いによる集団転作(地域ぐるみの計画書を策定し、この計画に基づいて転作を実行する)は、九十九集落ありました。

また、このうちでさらに厳しいまとまりを必要とする、連担団地化(転作田を地続きにまとめる)とともに、団地内の転作作物を二・三作物にまとめる(実施集落は十七集落ありました)。

しかし、米の出荷量をみると、一昨年、昨年に引き続いて、県



農業の根幹をなす米づくりは、勤労・生産の体験学習にも取り入れられます(名田島小)

転作の課題

転作の制度は複雑で、色々な

五十八年度の転作率算出にあたっては、その基礎になる水田の全面積を把握します。

このため、二月末までに農地の農家間の移動、転用等による潰廃(宅地・道路等に用途が変更され、対象外になる水田)面積等を調査し、その後転作率を決めることとなります。

水田面積と転作率

から示されている売り渡し限度数量を達成出来ず、現在までの出荷量は九十六%止りになっています。

老人保健制度スタート 70歳以上を対象に

2月1日



七十歳(寝たきりの人は六十五歳)以上の人は、二月一日から老人保健法による、新しい制度で医療を受けることとなります。

医療を受ける時

今までは「保険証」と一緒に「老人医療費受給者証」を提示していましたが、これからは「保険証」と「健康手帳」を提示して医療を受けることとなります。

資格の取得

七十歳になる誕生日の月の翌月一日から資格が得られます。

一部負担金が必要

今までは無料でしたが、二月一日からは、医療費の一部を負担することになります。

また、二月二日以降に七十歳になる方は、資格が発生する時点で、また、六十五歳になって寝たきりの認定を受けようとする方は、印鑑と保険証を持って市保険年金課(亀

(3)



20歳の誕生日は国民年金の加入日
現在では、二十歳になったら、厚生年金や共済組合

このうち、公的年金に加入している人の配偶者と、昼間部の学生については、希望すれば加入することが出来ます。

国民年金から2つの便り 手続きをお忘れなく

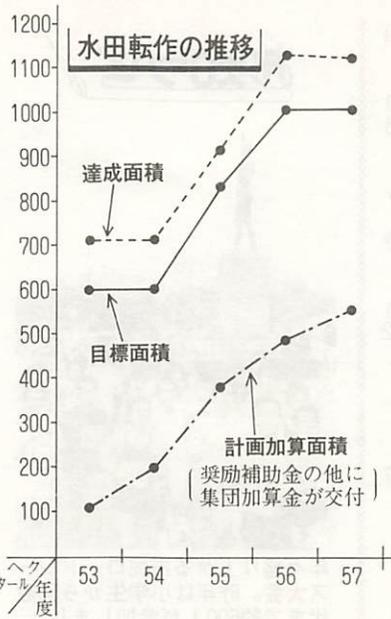
などの公的年金に加入している人と、昼間部の学生および配偶者が他の公的年金に加入している人以外は、だれもが国民年金に必ず加入することになってい

国民年金は、老後と万一の不幸な事故などに備えて、国がいろいろの給付を行う制度です。そのために若い時から掛金をかけ、準備をしておくことが必要

二十歳の誕生日には、国民年金に加入の届けを市保険年金課(亀山町二一)または、各出張所で行きましょう。

老齢年金 受給の届けを

大正七年生まれの人で、国民年金に加入し、保険料を納めた人(免除も含む)は、今年の誕生日がきたら六十五歳になり、老齢年金が受けられます。したがって、六十五歳の誕生日がきたら市保険年金課、または各出張所で年金を受給する手続きをしてください。



問題を生じています。すでに、この制度も充足してから五年経過しましたが、山口市では次のような課題があります。

○国が奨励している作物・大豆の作付面積は年々伸びているものの、実質的な休耕である預託水田(労力不足等で本人が転作を行わず、農協等へ預け保安全管理してもらう)が多い。
○作付け時から捨て作り(転作目標面積を達成するため、作付けはするが、手入れをしないで、生産性の低い作物を作付けする)の水田がある。

今年の

話し合いによる 目標面積 98



湿田を乾田にするほ場整備事業が進む(名田島で)

転作の将来展望

転作目標面積の達成と米の目標出荷量の確保
米の需給事情に大きな変動がない限り、生産調整の若干の率は変更しても、転作制度は続くものと予想されます。それに伴って、灌水・排水の容易な水田の確保が望まれます。さらに生産性の高い水田ということになると、ほ場整備等が必要で



「私たちのまち山口」

嘉川小のはだし教育

市では、毎週日曜日の午前十一時五十分から五分間、TYSテレビで「私たちのまち山口」を放映しています。一月三十日と二月六日、十三日は、学校内ではだしの励行で身体を鍛え、風邪をひかない、たくましい子どもに育てる教育活動を実践する、嘉川小学校を紹介します。年間を通じて靴下や上靴を履かず、真冬でもはだしでがんばっている児童の姿を放映します。

保育園入園希望者

申請書を1月25日から4日間受け付けます
4月から保育園に入園を希望する人の申請書の受け付けを、1月25日から28日までの4日間、午前9時から午後4時まで市役所内市民ホールで行います。なお、南部地区の各保育園も、この期間中に各園で受け付けます。詳しくは、市福祉課(☎22-4111)へ
■心身障害児療育相談会
県心身障害児総合療育システムの一環として、市内に居住している障害児とその保護者を対象に、次のとおり相談会が開かれます。
○日時 1月24日午後1時から3時30分まで
○場所 市中央公民館
○相談担当者 小児科(三浦敏男・県立中央病院副院長)、精神科(藤山哲男・県立病院静和荘精神科部長)、整形外科(開地逸朗・鼓ヶ浦整肢学園長)、言語障害(熊野汎美・白石小学校教諭)、機能回復訓練(久保裕・県身体障害者福祉センター指導係長)、保健衛生(山口保健所、市衛生課保健婦)、心理判定(中央児童相談所心理判定員)、生活福祉(市福祉課、家庭児童相談室職員)
○申し込み、1月19日までに市福祉課(☎22-4111)へ

山町二一(☎二一四一一)または各出張所で手続きをしてください。
(一部負担金の助成制度)
次に該当する方には、福祉医療費助成制度により一部負担金が助成されます。
○身体障害者手帳一〜三級を保持している人
○療育手帳Aを保持している人
○障害年金一級受給者
○右と同程度の障害の状態の十六年中の所得) 扶養一人の場合の所得、百五十一万八千円未満(昭和十六年中の所得)
「健康手帳」と「福祉医療費受給者証」を提示すると、一部負担金が免除されます。なお、この制度の適用を受けるには所得による制限がありますので、市保険年金課にお尋ねください。(参考)

市民ロードレース大会

2月11日・維新百年記念公園

第二十一回市民ロードレース大会を次により開催します。ふるってご参加ください。

日時 二月十一日(金) 建国記念の日 受付午前八時三十分から九時まで(時間厳守) 午前十時三十分から順次スタート

場所 維新公園陸上競技場で開会式 午前九時三十分

コース 小学生、女子および壮年は陸上競技場外周。他は

■主催・主管 市教育委員会、市体育協会・中学校体育連盟

■申し込み 二月四日までに氏名、年令、住所、参加種目、

国道九号バイパス折返し
■種目 一般(五、十、十五、二十、三十、四十、五十、六十、七十、八十、九十、百、百五十、二百、二百五十、三百、三百五十、四百、四百五十、五百、五百五十、六百、六百五十、七百、七百五十、八百、八百五十、九百、九百五十、千)

■対象 山口市民

■申し込み 二月四日までに氏名、年令、住所、参加種目、

■申し込み 二月四日までに氏名、年令、住所、参加種目、

■申し込み 二月四日までに氏名、年令、住所、参加種目、



年々盛り上がる市民ロードレース大会。昨年は小学生から50歳代まで約600人が参加しました

お知らせ

国鉄では、「きつぷを正しく買っていただく運動(オレンジキャンペーン)」として、次のことを呼びかけています。
■きつぷは、着駅までお買い求めください。指定券は、一

「きつぷを正しく買う」
オレンジキャンペーン

「魔薬」の誘惑を
みんなで防ごう

カ月前から発売しています。次の無人駅では、駅前の商店等できつぷを発売しています。
○長門峡 ○鍋倉 ○船平山 ○東青原

一級・二級技能士
通信制訓練生を募集

覚せい剤は、人を廃人にする恐い薬物(悪魔の薬)です。みんな協力して、覚せい剤を開放しましょう。

不燃物の収集日

出張所地区

- 2月 1日嘉川、2日鑄銭司・陶、3日佐山、4日名田島・秋穂二島、9日大内、15日平川、17日小幡、18日吉敷、22日仁保、23日宮野、25日大蔵

■「山口県潮汐表」おわけします
山口潮候所では、財団法人日本気象協会下関支部発行(下関地方気象台監修)の「昭和58年山口県潮汐表」を希望者に実費で配布しています。代金は1冊320円、郵便料は70円です。希望者は、山口潮候所(周布町2-1)☎22-5207へ

■県民大学講座(古文書講座)
○期間 2月4日(金)~3月25日(金)の毎週金曜日(ただし、2月11日は2月10日(木)全8回)
○開講時間 午後1時30分~5時
○会場 県生涯教育センター研修室(大手町、山口県教育会館3階)
○受講対象 県内在住の一般人
○定員 40人(多数の場合は抽選)
○受講料 無料(ただし、資料代として2,000円程度徴収)

○内容 「軍記」「法度」「寺社の縁起」「県庁文書」など
○申し込み 1月21日までに往復ハガキで通信欄に「住所・氏名・性別・年齢」を、返信欄に「郵便番号・住所・氏名」を記入して県教育庁社会教育課古文書講座係(後河原松柄 150-1)☎23-3325へ

■市駅伝にご協力ください
1月30日正午から市民会館一宮野一仁保一市民運動広場(大内)の間で市駅伝競走大会を行います。沿道の皆さん、ご迷惑をおかけしますが、よろしくご協力ください。

市民スキー大会参加者募集

- 日時 1月23日(日)午後1時30分開始
- 場所 十種ヶ峰スキー場(阿東町)
- 種目 大回転競技
- 種別 一般男子(高校生を含む)、一般女子(高校生を含む)、少年(小学生男・女、中学生男・女)の部
- 参加料 500円
- 参加資格 市内在住、在勤またはクラブ会員
- 申し込み 当日、現地で受付。受付時間は午前11時30分~午後0時30分
- 主催 市スキー連盟
- 問い合わせ 市スキー連盟事務局(道場門前一丁目杉本スポーツ内☎25-1234)へ

第4回市川柳大会

- 日時 2月27日(日)午前10時30分~午後2時30分
- 会場 市中央公民館視聴覚室(2階)
- 参加資格 市内在住者または、在勤者(投句は受け付けません)
- 課題 「考える」「休み」「煙」「腰」「削る」(各題2句吐席題なし)
- 参加料 800円
- 主催 山口文化協会、山口川柳吟社、陶八雲川柳会
- 問い合わせ 山口川柳吟社(☎22-0876)へ

今春、進学される方「国の進学ローン」があります

今年も進学時期が近づきました。国民金融公庫(政府金融機関)では、進学に必要な資金の融資を行っています。進学資金を必要とされる方は、気軽に相談ください。
○融資額 50万円以内(進学者1人あたり)
○利息 年8.4%
○返済 毎月割賦返済
○融資期間 大学4年・高校3年以内
○取扱期間 昭和58年1月~4月(合格発表前でも予約ができます)
○問い合わせ 国民金融公庫山口支店(中央五丁目2-47)☎22-3660へ



県保母修学資金貸与生募集

- 対象者 昭和58年度に保母養成施設に入学を希望している高校生
- 募集人員 若干名
- 貸与額 月額13,000円
- 提出書類 貸与申請書、推薦書、保護者の所得証明書、成績証明書、住民票簿
- 申し込み 1月31日までに県児童家庭課(後河原松柄 150-1)☎22-3111へ

雇用促進事業団立職業訓練大

- 訓練科目 (一級) 機械加工・配管など四科 (二級) 配管・建築・金属塗装など二十九科
- 受講資格 実務経験のある人
- 訓練期間 標準一カ年(いつでも受け付けます)
- 受講料 (一級) 八千円 (二級) 六千円
- 特典 技能検定の学科免除
- 問い合わせ 山口技能開発センター(大字矢原字花の木)☎22-1948へ

定年延長、継続雇用を

定年延長、継続雇用をされている事業主の方には、次の奨励金(助成金)が支給されますので、一月三十一日までに山口公共職業安定所に申請してください。
■定年延長奨励金 定年年齢を昭和四十八年四月一日以後引き上げた(新定年が五十六歳以上)事業主に対し、該当者一人当り年額四十万円(大企業三十万円)の奨励金が支給されます。
■高齢者雇用確保助成金(新制度) 定年年齢が六十歳以上で昭和五十七年一月一日以後六十一歳以上の年齢まで雇用する制度(定年の引き上げ、再雇用等)を設けた事業主に対し、該当者一人当り年額四十万円(大企業三十万円)の助成金が支給されます。

定年延長奨励金の申請 1月31日までに

